

渥美半島における生息状況調査について

(生息調査の結果及び解析)

1 解析方法

現地で確認されたフィールドサインのメッシュ毎の延べ密度と既往資料整理結果（捕獲情報:H30, R1、目撃情報:H30）及び自動撮影カメラ撮影結果（撮影頭数/カメラの稼働日数）をメッシュ単位で重ね合わせ、渥美半島での早急対策エリアの抽出を行った。

また、フィールドサインの確認位置と捕獲情報、わな位置（H30, R1）を重ね合わせ、今後の効率的なわな位置等の検討を行った。

2 解析結果

① 早急対策エリアの抽出

以下の情報の重ね合わせは、図 3-1 に示すとおりである。

- ✓フィールドサインのメッシュ毎の延べ密度
- ✓既往資料整理結果（捕獲情報:H30, R1、目撃情報:H30）
- ✓自動撮影カメラ撮影結果（撮影頭数/カメラの稼働日数）

上記を踏まえると、分布密度の高いエリアは以下のとおりであり、これらのエリアについては早急の捕獲対策が必要である。

- ・大山北東部エリア
- ・表浜豊橋エリア
- ・蔵王山周辺エリア

② 今後の効率的なわな位置の検討

以下の情報の重ね合わせは、図 3-2 に示すとおりである。

- ✓フィールドサインの確認位置
- ✓既往資料整理結果（捕獲情報:H30, R1）
- ✓わな位置（H30, R1）

上記を踏まえると、分布密度が高いものの、わな設置が無い場所は以下のとおりであり、これらのエリアについては早急の捕獲対策が必要である。

- ・大山北東部エリアの西側と北側
- ・蔵王山周辺エリアの北東側
- ・渥美半島先端部エリアの城山周辺（鳥獣保護区）